

田中康夫

今月の憂いコト

激動する世界情勢から、日本の積極的平和主義、国産ワインと日本ワイン、LINEのあり方まで！

東京・目黒の日本近代文学館に併設された、ブックカフェ『BUNDAN COFFEE & BEER』。本棚に見つけた懐かしい一冊

『憂国呆談』を手にとった田中・浅田両氏は、コーヒーよりも苦い日本の現状を論じ合った。

photographs by Hiroshi Takaoka text by Kentaro Matsui

浅田彰

憂

憂国呆談

season 2 VOLUME 51

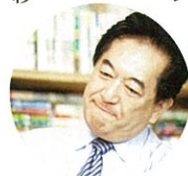
イスラエルのガザ地上侵攻。日本は何をすべき？

浅田 イスラエルがガザ地区に地上部隊を侵攻させてから1か月半ほど経つ。何度か短い停戦はあったものの、今のところ泥沼状態のままだね。

かつてのラビン（イスラエル首相）とアラファト（パレスチナ解放機構議長）の握手にもかかわらずイスラエルとパレスチナの和平交渉は進まず、イランのアフマディネジャド前大統領（彼が案外プラグマティストかも）しれないって就任時に言ったのはわれわれの見込み違いだった）がイスラエル国家の殲滅を唱えたりした反動で、イスラエルで一度は失脚したタカ派のネタニヤフ首相が復活、いまの事態に至ってるわけだ。

田中 ユダヤ教徒であるモントリオール大学のヤコブ・ラブキン教授は、パレスチナにユダヤ人の祖国建国を目指すシオニズムは、ユダヤ教の本質とは異なる政治的なナショナリズムだと述べている。アメリカのクリスチャン・シオニズムを信奉するものにとって、ユダヤ人がイスラエル国家をつくれれば、キリストが再臨することになり、ユダヤ教徒はキリストをメシア（救世主）と認めてキリスト教に改宗するか、最後の審判を受けて死ぬかという選択を迫られることになる。中東紛争はイスラム教徒とユダヤ教徒の宗教戦争ではなく、一握りのシオニストが武力を行使し、そこにいたパレスチナ人を追い出した、極めて単純で嘆かわしい人権問題だと。エドワード・サイードと同じ考えだね。

浅田 ユダヤの思想家の中には、祖国なき



ディアスポラ（離散）の状態にこそユダヤ性の本質があるって考える向きもある。ただ、ナチスのユダヤ人虐殺のあと、「パレスチナの地に祖国を」っていうシオニストの声を国際社会が認めないわけにはいかなかったわけだ。でも、そこには当然アラブ系のパレスチナ人が住んでたわけで、その人々を排除したうえで「ここに神に約束された無垢な大地がある」って言って強引に占領したシオニストのやり方は、アメリカの「インディアン」や北海道のアイヌを排除したやり方とまったく同じ。元々の住人からすれば植民地主義にはかならない。このまま紛争を続けても泥沼になるだけで、パレスチナ人を力づくで抑え込めたとしてもイスラエルがアパルトヘイト国家に墮しちゃうって考える人も、あの国にはたくさんいるんだだけ。

田中 ニューヨークやロンドンで在米ユダヤ人たちがユダヤの黒い衣装を着てイスラエルの空爆や地上侵攻に抗議するデモをしている。他方で中近東はカタールやトルコがハマスを支援する一方、サウジアラム原理主義組織と日本のメディアは注釈を加えるけど、少なくともパレスチナ自治政府の存在は1994年のオスロ合意でイスラエルも認めているわけで、人道的見地からも非難を浴びているガザ侵攻に対して、腰が引けているのは哀しいね。



浅田 アメリカがイラクのフセイン政権を倒したあと、まともな国家が再建されないまま、中東で国境を越えて宗派対立が激化

した。パレスチナのハマスとレバノンのヒズボラはシリア派のイランが援助してるんで、スンニ派のサウジアラビアは実はイスラエルがハマスを殲滅することを望んでるんだらうね。他方、スンニ派とはいえ「イスラム国家」のような過激派もまた困ると。勝手すぎるよ。

田中 日本の防衛装備移転三原則ではイスラエルは「紛争当事国」に該当せず、日本製部品がイスラエルのミサイルに使用されるのを認めているのもシュールでしょ。国連至上主義な日本は、その国連パレスチナ難民救済事業機関UNRWAが運営している学校を爆撃して数十人が死亡しても何も言わず、中東を訪れた岸信夫外務副大臣がネタニヤフ首相とは会談する一方、資金難を訴えるUNRWAへの緊急支援は未だに「検討中」だからね。真の積極的平和主義の外交を今こそ発揮するべきでしょう。

浅田 安倍晋三首相はノルウェーの政治学者ヨハン・ガルトウングの言った「積極的平和主義」って言葉をはき違えている。積極的に軍事力を行使できる言うけど、軍事力による抑止ってのは文字どおり消極的な平和でしかない。紛争を生む貧困や不平等、差別や抑圧をなくし相互理解を深めることで人々が平和に暮らせる状態をつくるってのが積極的平和主義なんで、そこそ平和憲法をもつ日本がやるべきことなんだよ。当然、食料をはじめとする緊急援助は積極的にやるべきだ。軍隊は出さない代わりに、他のことはできるかぎりやる……。



浅田 まさにそのとおり。「サンダーバード隊」をエボラ出血熱の広がってる地域に送れば、感染して死ぬ人も出るかもしれない。現にアメリカ人の医師も感染してる。そういうリスクは覚悟するしかない。それと、人殺しの能力をもつ軍隊を送ることは、まったく別のことだよ。

田中 ブラジルから真横に飛べばアフリカ中部なのだから、安倍首相も中南米歴訪の後にシカゴで給油して戻るのでなく、南アと並んで今や経済大国のナイジェリアに急遽、航路を変更して立ち寄るべきだった。エボラ出血熱に直面するギニア、リベリア、シエラレオネ等々の近隣の首脳と一堂に会して、支援を約束する会見を行えば、欧米や中国の機先を制したのにな。ブラジルは日本の真裏だから、西回りでも東回りでも飛行時間は変わらないんだよ。



浅田 そういう自衛隊だからこそ志願した隊員もいるはずなんで、アメリカの戦争の

浅田 今こそ「サンダーバード隊」だよ。25年前の「憂国見談」開始以来、ずっと

浅田 隊員もいるはずなんで、アメリカの戦争の

下働きをさせられるようなことになったら「話が違う」ってことになるよな。

田中 その意味では話が少し逸れるけど、「海猿」と呼ばれて信頼感を高めていた国土交通省の外局にあたる海上保安庁が、辺野古沖で抗議活動していたボートに乗り込んでエンジンキーを奪って停止させ、船長を拘束したり、カヌーの男性を羽交い締めする映像が報じられて、沖縄では反発が強まっている。災害時の天候の急変を見極められない気象庁も同じく外局だし、国交省も受難の時期だ。

他方、ウクライナ上空で撃破されたマレーシア航空機の事件では、マレーシアのナジブ・ラザク首相がウクライナの親ロシア派の過激派組織と交渉し、ブラックボックスと遺体の引き渡しの同意を取り付けただけ、ウクライナの航空管制とのやりとりは一向に公開されないまま。交信記録はオフイシャルなわけだから、これでは公開できない理由があると思われるけど、一説にはマレーシア機側はもつと上空を飛びたいと求めたのに対し、その高度を保てと返されたという真偽の程を明らかにするうえでも、日本では民主的政権と表層的に報じられているウクライナ政府内部でも極右原理主義者が跳梁跋扈している。東部で「ドネツク人民共和国」を牛耳る親ロシア派も実はウラジーミル・プーチンでさえ制御しきれない面々で、新興財閥のオリガルヒやノーメンクラトゥーラの残党のような連中もいるから難しい。

浅田 ロシアのプーチン大統領はクリミア編入まではうまくやったけど、今回はならず者の連中を使いすぎてコントロールしきれなかった感じだね。ロシアから見れば、ソ連崩壊以後アメリカを盟主とするNATO

Oが一方的に覇権を拡大してきているわけで、それへの反動に走るのもわからなくはない。むしろ、意図的じゃなかったにせよ旅客機を撃墜するなんてのは問題外の暴挙だけだ。

田中 ケネディ暗殺と同じで真相はお蔵入りしそうな気配だ。ウクライナの政権も内部同士で射殺し合ったりするお寒い内情だし、もつと言えは、アメリカのジョー・バイデン副大統領の息子がウクライナ最大のガス会社ブリスマ・ホールディングスの取締役メンバー兼法律顧問に就任したのも「季下に冠」の観点から疑念を抱かれています。ドイツのガス供給の40パーセントがロシア産LNGなわけで、エネルギー問題は一連のウクライナ内紛の原因だからね。

そのワインは「国産」？ 言葉のマジックが氾濫。

浅田 中国も大変な状況になってきた。習近平国家主席が周永康・前共産党政治局常務委員の取り調べに踏み切り、彼とつながる連中も次々に検挙されたり失脚したりしている。中国のトップに君臨する7人(周の時代は9人)の政治局常務委員経験者はこれまで誰も手を出せない存在だったのに。そこまで荒療治をやらなきゃいけないって



田中康夫

たなか・やすお ●1956年東京都生まれ。一橋大学法学部卒業。大学在学中に『なんとなく、クリスタル』で文藝賞受賞。長野県知事、参議院議員、衆議院議員を歴任。

のは相当大変な状況だったことだね。

田中 7月に北京で開催された「米中戦略・経済対話」の開幕式で習主席が、中米投資協定BIFT早期妥結発効への期待を表明したにもかかわらず、バラク・オバマ政権側はそのシグナルを見逃し、会見でもその話が出なかった。BIFTは、自分の国に進出して来た相手国の企業を自国の企業と同等に扱う、言わばTPP(環太平洋経済連携協定)以上に過激な協定。中国における保険、金融、通信などへの投資拡大の「利と理」をアメリカは獲得することができると同時にBIFTは軍産複合の既得権益を死守している江沢民元国家主席の上海閥一派を解体するための「毒を以て毒を制す」的な習主席の戦略なのではないかと僕は思う。使用期限切れの肉や青カビの生えた肉をマクドナルドに出荷していた中国の食肉加工会社「上海福喜食品」の問題も、シカゴ近郊に本社を置く食肉加工業の多国籍企業OSIの子会社だからアメリカ叩きだと言われているけど案外、上海閥を一掃するための構図の一つかもしれない。

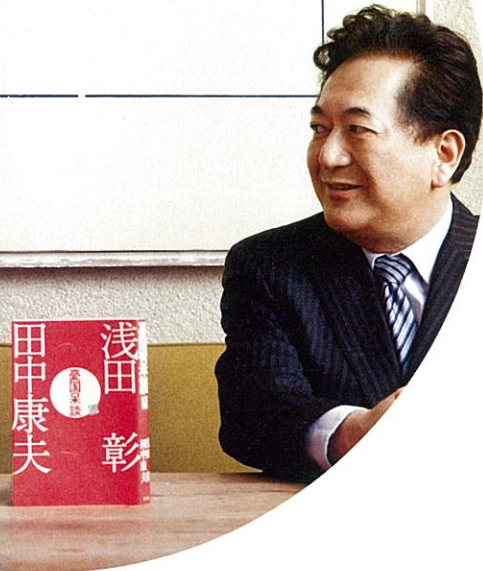
浅田 あの食肉工場の映像は明らかに隠し撮りじゃないんで、むしろやらせじゃないかとすら思える。ともあれ、すべてが政治

がらみなのが中国の厄介なところ。

田中 日本では行政主導で「地産地消」のお題目が東北でも展開されているけど、長年にわたって『ソトコト』読者が地道に着実に成果を上げていた小さなコミュニティでの確かさが理想なんだよね。神戸市内で肉牛を肥育しているのは数軒なのだから、淡路島牛、兵庫牛を名乗るならまだしもどうして百貨店の地階で神戸牛が大手を振っているの？ という疑問を震災ヴォランティアの前から抱いていた僕は、それで長野県知事時代に「長野県原産地呼称管理制度」を田崎真也氏らの助けを借りてワイン、日本酒、米等で制度化した。本当は肉も行ったかったんだけど、さまざまな壁があつたね。ところで、「国産ワイン」と「日本ワイン」は別物だって知ってた？ 後者は日本で収穫されたブドウで醸造されたワインで、前者の国産ワインは実は、東欧等の海外から輸入したワインや濃縮ブドウ果汁などを使って日本で生産したワイン。だから日本でもいちはんワインを生産するのは長野県でも山梨県でもなく、海外から船で運ばれてきた原料を近くの工場加工・瓶詰・出荷している神奈川県になるわけ。まったく意味が分からない(苦笑)。輸入醸造ワインと呼ぶならともかく、なんで海外の原料でつくったワインが「国産」になるわけ？ 実は魚のコイもね、信州はコイを煮込んだ鯉(こい)で有名だけど、そのコイの多くは茨城県の霞ヶ浦で育て、最後の2週間ほどだけ長野で育てて「佐久のコイ」として売っている。

浅田 日本人が食べ過ぎたせいで絶滅危惧種に指定されたウナギはどうなんだろう。かつて母が京都の老舗料亭のウナギを好んで買ってたけど、アイスランドで火山が噴

長年にわたって『ソトコト』
読者が地道に着実に
成果を上げている小さな
コミュニティでの
確かさが理想
なんだよね。(田中)



火して航空機の欠航が相次いだとき、パタッと品切れになった——ってことは輸入物だったんだね(笑)。

田中 エビ目イセエビ科のオーストラリア・イセエビを伊勢海老として提供していたホテルが景品表示法違反で昨年末に行政指導を受けたけど、今年6月に地理的表示法が成立しても「伊勢海老」は普通名称として目こぼしされてるのもエビの頭隠して何とかだね。漁獲量213トンの三重県に続く和歌山・千葉・静岡・長崎・徳島5県で3倍近い587トンも伊勢海老の呼称で販売するのは合法なんだから。

いじめの要因にも？ 子どもたちのLINE考。

田中 1月に長崎の五島列島でいじめによって自殺した中学3年生の少年が、「LINE E(ライン)」に自殺をほのめかす書き込みをしていた。それをほかの生徒の親まで見ていたのに学校に知らせず、彼の死後、教育委員会と校長は彼からSOSのサインが出ていたことに報告書の中で意図的に触れようとしなかった。何だろうね、このデイスコミュニケーションって。

浅田 コミュニケーションが発達したのはいいけれど、それによる病理も問題だね。LINEでメッセージが届いたらすぐに「既読」にして返信しないと「あいつはシカトしてる」なんて言われる。子どもたちはそんな異常なコミュニケーションに常にプレッシャーを感じてるんだ。家族と晩ご飯を食べながらも常にスマホを見てなきゃいけない。

田中 夜遅く届くメールにも返答しなければコミュニケーションに入れないと思ってビクビクしてるといじめられっ子が大量いる。



ここでも誤った誇張は正すべきだけれど、日本の責任は認めて謝罪するのでもなければ日韓の和解なんてありえない。(浅田)

浅田 夜中に電話をかけてくるのは困るけど、Eメールを送ってくれば翌日になってから好きなときに返事を出せばいい。そういう時間差のあるコミュニケーションこそネットのメリットなのに。

ただ、フランスでは仕事のメールを勤務時間外に出すことを禁止した。暗黙のプレッシャーになるからかもしれないけど……。田中 秘書にも翌朝の指示を送ってはいかないという法律ね。事業国で税金を払わず無国籍企業化しているアマゾンに罰する法律を制定したフランスならは。

浅田 まあ、弱い立場の被用者にそこまで配慮するってのは悪いことじゃない。

田中 上司は部下にメールを送っておいて、家に帰って寝るといふのは当たり前だから、でも、それをプレッシャーにしている大人社会のありようが、子どもの世界にも伝播しているのかもしれない。

浅田 そうかと思つたら、「日本維新の会」の山本景・大阪府議会議員が、女子中学生のLINEのグループから排除されて激昂し、恫喝めいたメッセージを送っちゃうなんて事件も起こった。大人が中学生と本気で喧嘩してどうすんだっての。

田中 まさにネット用語で逝つて良し。

浅田 彰

あさだ・あきら●1957年兵庫県生まれ。
京都大学大学院経済学研究科博士課程中退。京都造形芸術大学教授。
83年に出版されたデビュー作『構造と力—記号論を超えて』はベストセラーに。



浅田 ところで、1954年の第五福竜丸

事件を受けて撮られた『ゴジラ』は、「アメリカの水爆実験によってゴジラがすみかを追われ、放射能を吐く怪物となって日本にやってくる」って話だけど、この夏に公開されたアメリカ版『GODZILLA』は、「ゴジラは今より放射能の強かった時代から生き残ってきた、それを水爆でやっつけようとして失敗したのが1954年の『実験』だった」っていう、アメリカにとって都合のいい話になっちゃってる(笑)。

田中 渡辺謙はその設定には反対しなきゃ。スイスのダヴォス会議に出席して脱原発を訴えるスピーチを行ったんだから。

浅田 彼は「ガズイラ」っていう英語の発音を拒否して、日本語で「ゴジラ」って言った。それによってゴリラ(キングコング)とかゴジラっていう語源が辛うじて保たれたわけだけだね。

田中 『ジョン・ラーベ』南京のシンドラー」という映画は、日本での配給会社が決まらず、自主上映状態。香川照之とか日本人俳優も出ているのに岩波ホールですら上映できないとはね。

浅田 「いいドイツ人もいた」って思いたいドイツ人のつくった映画で、史実とはか

なり違う(そもそもナチ党員で反ユダヤ主義者だったラーベはシンドラーとは違う)だろうけど、まともに配給できないってのは異常だね。南京大虐殺の犠牲者の数は誇張されてるかもしれないけれど、じゃあ少数者だったら許されるのか。できるかぎり実証的な研究はすべきだけれど、日本軍が中国の非戦闘員も大勢殺傷したことは明白な事実なんで、それを認めて謝罪するのだから、日中の和解なんてありえない。同様に、朝鮮人の「従軍慰安婦」について、強制連行に関する虚偽の証言を朝日新聞が載せた、それを誤報として撤回したのはいいけれど、じゃあ「慰安婦」はすべて売春目的で民間の業者に雇われただけで日本軍には何の責任もないなんて言えるのか。ここでも誤った誇張は正すべきだけれど、日本の責任は認めて謝罪するのでもなければ日韓の和解なんてありえない。実際、かつての政権が不十分なりともそれをやっつけたわけで、いまになって安倍政権が問題を蒸し返すのは政治的にも愚かだよ。そもそも右派が強い主体として立とうっていうのなら、まずは堂々と加害責任を認めて謝罪するところから始めるべきなんで、中国や韓国に非難されるとあたかも自分が被害者であるかのようにヒステリーを起こすなんてのは問題外だよ。

田中 神奈川新聞が「慰安婦報道撤回本質は強制連行にない」と題して社説で「慰安をしたのではなく性暴力を受けた。その制度づくりから管理運営に軍が関与していた」この国が過去と向き合っていない。69年という歳月の重みだ」と記していた。「白馬事件」と呼ばれるインドネシアでのオランダ人女性の慰安婦問題も含め、浅田さんの言うとおりでよ。